

概略

序論

「告白」という映画は自分が担当するクラスの生徒により娘が殺された「森口悠子」という教師について語った映画である。「告白」は2010年にて初めて公開され、中島哲也が監督した。

この論文にて、筆者は登場人物の関係、話の場面及び話の流れを解釈することにより、「告白」という映画を分析したい為、筆者は形式論を使用した。形式論はある文学の作品を歴史、伝記、や文化の文脈等と関係はなく、内容より作品の形を優先し、作品を分析する理論である。

形式論はある作品を構築する本質的属性を分析するものでもある。他の作品と同様に、映画はテーマを解釈する為に、登場人物、背景、流れ等本質的属性を持つ。

話の中にあるメッセージを知る為には、テーマを解釈することでできる。テーマは作者が人生に対する観測である作者の結論のである場合もあるし、単なる人生にての問題を述べるのみの場合もある。

本論

この論文にて、筆者は登場人物、背景、流れという本質的属性が「告白」という映画のテーマをどれぐらい支えるのかについて分析した。筆者が分析する登場人物は「森口悠子」、「渡辺修哉」、「下村直樹」である。

森口悠子（先生）という登場人物は愛情いっぱいの母親であり、限界まで教師として義務を果たす為に頑張っている教師であった。しかし娘が自分のクラスの生徒に殺されたことにより、冷たく、復讐やごまかしていっぱいの人格となった。

渡辺修哉という登場人物は、小さい頃、普通の子供と同様に純粋で、単純な子であったと描かれている。しかし、母親によく痛め付けられ、捨てられた為、その性格も変わってしまった。彼はすぐれた知能を持ち、他人に感情移入が無く、孤独な少年になった。

下村直樹という登場人物は映画の初めでは、弱虫であり、友達がなく、受動的な生徒として描かれている。しかし、渡辺修哉と友達になった以降、いたずらもできる人格に変わってしまった。

「告白」という映画の場所の場面のほとんどは学校である。つまり、教室、学校のプール、体育館といった学校にある場所である。

「告白」という映画の時期の場面は森口悠子（先生）が自分が教師を辞めるという宣言をした 1 年の学期の最後の日のシーンから始まる。その後のシーンは新しい教師が紹介されるという新学期の最初の日及び 2 年の学期が始まった時期である。

映画の社会の場面は刑法の第 41 条によると 14 歳に満たない者は犯罪行為をしても、責任を取らされないことがない。この映画の登場人物である渡辺修哉及び下村直樹はその事例である。

話の流れは出来事の順番によりできた話の一連である為、ある話で登場する人物によりでてくる話を連携するものである。筆者は「告白」という映画の流れ3つの出来事の段階に分けた。つまり、初め（BEGINNING）から移行し、中間（MIDDLE）を通り、終わり（ENDING）に至る。「告白」という映画の初め（BEGINNING）は話しの紹介である、教室の雰囲気の説明とそれに従い、森口悠子の独白である。中間（MIDDLE）というのは対立を起こす問題と出来事である。森口悠子が教師を辞める時から始まった。終わり（ENDING）は発生した全出来事の問題の解決が完結に至るときである。終わりに、森口悠子が渡辺修哉に復讐することに成功した。

結論

登場人物、場所、時期、社会の場面と話の流れは繋ぎあい、森口悠子（先生）という登場人物の復讐についての話の流れを支える。登場人物の要素はキャラクターに発生している変化を示す。場面の要素は生徒と教師である登場人物が存在する話の流れを支える。学校の授業時間と関わっている時期の場面の要素も登場人物が生徒と教師である為である。社会の場面の要素は対立を発生させ、森口悠子（先生）が復讐をすると決意させる。その他に、話の流れの要素は出来事の順番からできた話を繋げることに手伝う為、登場人物により現れる話を作り出した。

「告白」という映画を形式論にて分析した結果、この映画のテーマは「正義に対する不満が、復讐に繋がる」とあるという結論を得た。

DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL	i
HALAMAN PENGESAHAN	ii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	iv
KATA PENGANTAR	v
DAFTAR ISI	viii
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang	1
1.2 Pembatasan Masalah	5
1.3 Tujuan Penelitian	5
1.4 Metode Penelitian dan Pendekatan Penelitian	5
1.5 Organisasi Penulisan	7
BAB II STRUKTUR FISIK CERITA	8
2.1 Penokohan	11
2.2 Latar Cerita	16
2.3 Alur Cerita	19
2.4 Tema	22
BAB III ANALISIS TEMA	29
3.1 Penokohan	29
3.1.1 Yuuko Moriguchi	29
3.1.2 Shuya Watanabe	37

(Lanjutan)

3.1.3 Naoki Shimomura	43
3.2 Latar Cerita	46
3.2.1 Latar Tempat	46
3.2.2 Latar Waktu	51
3.2.3 Latar Sosial	52
3.3 Alur Cerita.....	55
BAB IV KESIMPULAN	67
DAFTAR PUSTAKA	71
SINOPSIS	x